

母親委員会グループ研修報告書

「あいさつの大切さ」

お・あ・み・ちゃん

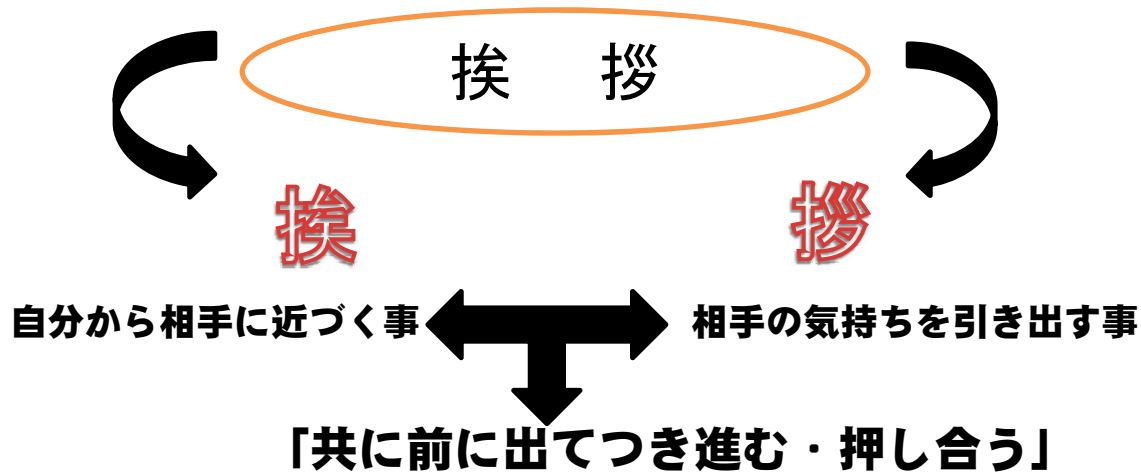


Aグループ

第一小学校
稚松小学校
犬丸小学校
串 小学校
日末小学校
中海小学校
西尾小学校
東陵小学校

中川
管野
大村
田地
竹田
北野
清水
湊

挨拶から始めよう！



一人ではできない事だが上手に使えば使うほど、
人づきあいが豊かになるという特徴をもっている。
～人と人とのコミュニケーションにおいて欠かせないもの～

あいさつは世界共通の行動ですが、その方法は国によって千差万別のようなようです。日本ではお辞儀が一般的ですが、タイではお辞儀の代わりに合掌を、ポリネシアでは鼻を使ってあいさつをします。

人付き合いの入り口は「あいさつ」だと思います。人間同士が何らかの目的で顔を合わせる場合、すぐに目的に関する話題を始めるのはまれな事です。あいさつを交わすだけでも繰り返しているうちに親近感が湧いてきます。

＊あいさつは相手を認め、相手を尊重し、相手と交友関係を結びたいという表明ですから、無視されるのはとても辛い事です。必ず明るく返す習慣をつけましょう♪

挨拶とは・・・とても簡単で、とてもとても深い事！！

⇒お・あ・み・ちゃん運動

お・・遅れない！ あ・・あいさつをする！
み・・乱さない！ ちゃん・・ちゃんと守る！

と作った集団登校時の

あいさつキャラクター

⇒ニコニコ花委員

毎日当番を決めて
玄関に立ちあいさつ運動する。

⇒あいさつ運動

登校時、きちんと立ち止まり相手を意識して、1対1で向き合ってあいさつを交わす。

(教師が手本を示す)

⇒あいさつの達人

人

「あかるく、いい顔で、ひとより先に、つづける」をテーマに得点化して 達人・天才・名人をめざす。

⇒わが町防犯隊運動

児童の下校時各町であいさつを呼びかける。

⇒縦割りあいさつ運動

各学年が混ざり合うグループを何組か作り、学年の隔てを取り、仲良く協力してあいさつ運動に取り組む。

各学校での 取り組み

各学校での取り組み その効果

☆集団登校でも元気なあいさつが交わされ、子供達が仲良く登校している様子を見かけるようになった。大人にも元気にあいさつできる子が増えた様にもなった。子供から元気にあいさつをしてもらおうと不審者も不審者でなくなるのでは・・・

☆子供達から積極的にあいさつしてくれるようになった。

(保護者より感じた事)

☆丁寧なあいさつができる子が増えてきた。

☆帰宅時に「さようなら」を意識的に言う子が増えてきた。

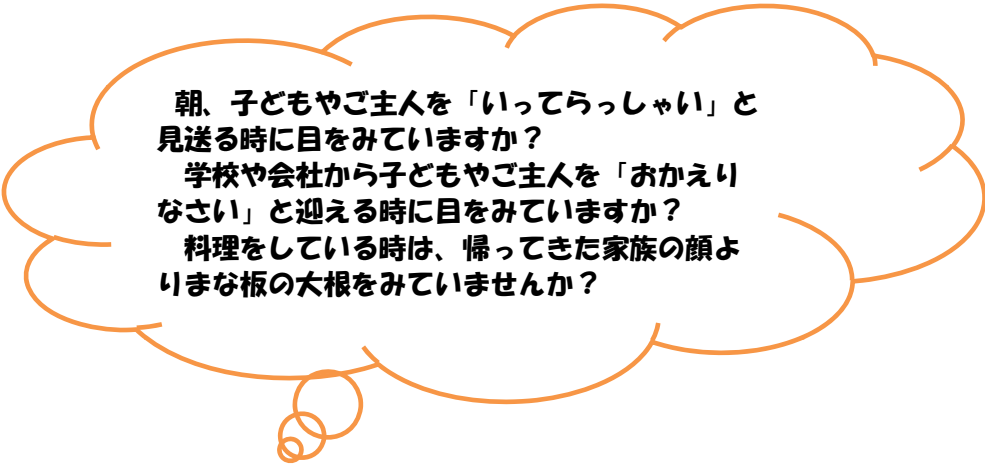
☆最初は、何をしてよいかわからずにただ立っただけだった下級生でしたが、上級生は下級生の手本となり下級生を引っ張り、下級生は上級生の教えを聞き入れ徐々に自分からすすんであいさつできるようになった。

(先生より学校内で感じた事)

☆あいさつ運動をする事によって、相手より先に自分からすすんであいさつできるようになった。

☆家庭でもあいさつを交わし、地域の人へのあいさつもきちんとできるようになった。

(子供達が感じた事)



朝、子どもやご主人を「いってらっしゃい」と見送る時に目をみていますか？

学校や会社から子どもやご主人を「おかえりなさい」と迎える時に目をみていますか？

料理をしている時は、帰ってきた家族の顔よりまな板の大根をみていませんか？

☆この研修を始める前は「おかえり！！」って気にもとめず、ただ帰ってきたからと・・・「ただいま！」って言ったから、ぐらいにしか考えていませんでした。

でも、元気に「ただいま！」って帰ってくる子供達に「おかえり！！」って私も大きな声で言ってあげたくて、仕事が終わると真っ直ぐに家に帰り子供達が帰って来るのを待っています。私の方が帰りが遅くなると、反対に「おかえり！」っと子供達の元気な声・・・仕事の疲れも吹っ飛びます。そして心まで癒される思いです。

☆以前、保育園の送り迎えの時に見かけた光景です。先生が玄関で登園してくる子供達を迎えるため待っていると、親子が玄関に入ってきました。母親は元気良く「おはようございます。」といっていますが、子供の方はあいさつをしません。母親は子供に「おはようは？」とか「あいさつしないといけないよ」とか、言いますが子供は恥ずかしいのかあいさつがいえません。そのうちに時間がなくなり母親は仕事へ行き、子供は先生と教室へ行ったようです。小さな子供は、その日の気分や体調などであいさつが出来たり、出来なかったりするものだと思います。

小さな子供にあいさつの大切さを解らすのは容易ではありません。しかし、子供は親があいさつをしているところを見たり聞いたりしている内に自然とあいさつができる様になるものだと思います。

☆「ただいま！」と言い「おかえり！！」と返す。私は別に逆だって良いって思うんです。ちょっとした言葉のかけあい・・・あいさつが心と心を結んでくれる様に思えるんです。

☆子供も小学校高学年になると少しずつ照れやはずかしさがでてきます。普通におはようと言えてた近所の子供達もだんだんうつむきかげんで・・・とってもさみしい気持ちですが、大人から照れやはずかしさをとってあげましょう。

「〇〇ちゃん」や「〇〇くん」と呼んで手を振ってあげたり「バイバイ！！」と言ってあげたり人と話し言葉を交わす事の楽しさを教えてあげたいです。何回か、この様なやりとりを交わすうちに、きっとうつむいていた顔が前を向き子供からニコニコと、手を振ってくれると思います。

～ちょっといい話☺～

☀鬼の顔にも笑顔…

近所に住んでいるおじいちゃんは頑固で偏屈者！有名でした。挨拶しても知らん顔！そんなおじいちゃんですから誰もが挨拶を交わさなくなってしまってた…☹

でも…そんなおじいちゃんがニコニコ笑顔☺になったんです。プイッ！とされても知らん顔されても、おじいちゃんに会う度に挨拶したんです。笑顔で…

プイッ！とされ続けて15回目ぐらいの時に、「おはよう！」とニコニコ笑顔☺で挨拶してくれたんです。みんなはびっくり仰天！

今では近所の人達とも仲良くお付き合いしています。笑顔いっぱい♪

☀話す前に深呼吸

子供も中、高校生になると部活動などで帰りが遅くなる事もしばしば…親としては心配でありませんが、少々反抗的にもなり聞くに聞けないのが現実…でも気にはなるし、遅く帰っても当たり前かのように知らん顔！！

その日も遅かったんです。・今日こそは遅くなる理由を聞こう、と…そうしているうちに玄関が開き、いつも通り黙って家の中へ…そんな態度に更に怒りも爆発寸前！！でも…思ったんです。冷静になってちゃんと聞こうって！

大きく深呼吸して穏やかに「おかえり☺」って！ そしたら「疲れた！部活が大変で…」と色々な事たくさん話してくれたんです。久しぶりに子供とも会話がはずみ、和やかな時間を過ごしました。

深呼吸してみましょ♪ 気持ちも楽になりますよ♪

☀笑顔で晩酌もグウッ～☺

おじいちゃんが道端で中学生と会いました。・どこかで会った様な…・と、うすら覚えでしたが中学生に向かってニコリ☺してみたんです。中学生は「こんにちわ♪」とニコリ笑顔で挨拶をしてくれました。

おじいちゃんはうれしかったそうです。中学生は孫の友達だと後になってわかったのですが、挨拶だけでなく笑顔がうれしくて、夕御飯の晩酌がとてもおいしかったそうです。あまりのうれしさに中学生の母親にも報告があった様です。母親は子供に聞いてみると、「友達のおじいちゃんじゃないかな～と思って…」と少々照れながら話してくれたそうです。

心からの挨拶ができたからこそ、おじいちゃんに伝わったんでしょう☺

☀おばあちゃんからの感謝☺

毎朝、学校へ行く時に友達と決めた待ち合わせ場所！その十字路の角に住むおばあちゃんは子供達が集まる時間に外に出ていたそうです。

子供達は元気に「おはようございます☺」と笑顔で挨拶してくれました。

毎日毎日、元気に大きな声で…！

そんな日々が続いていた頃に子供達の通う学校の全校集会にて校長先生より学校あてに1通にお礼状が届いたとのお話を聞いたんです。そのお礼状は、子供達が毎日会うおばあちゃんでした。

ひとり暮らしをしているおばあちゃんは、毎日挨拶してくれる子供達からたくさんの元気をもらったそうです。子供達に会うのが楽しみのひとつになりそんな優しい子供達にうれしくなって、お礼状を送ったそうです。子供達は突然の出来事にびっくり！！でも、うれしくて家に帰り母親に報告しました。

母親も子供のうれしそうな笑顔に自分までうれしくなりました。

おばあちゃんもきっと、こんな気持ちだったんでしょうね☺♪

～そして・・・結論～

★あいさつはまず家庭から・・・

上手な言葉づかいは必要ではなく、それよりも相手に対して心をくばりながらあいさつする事が大切だと思います。

あいさつというものは、大変簡単な様でいて奥が深く、多くの事を教えてくれました。

お互いの人間関係をスムーズにしてくれる第一歩があいさつだと思います。

その基本はやはり家庭の中でのあいさつから始まり、そして地域へと繋がっていくものだと痛感しました。

あいさつは頭で考えていうものではなくて、体で覚えるものです。無意識に口から出る様になりたいものです。

家庭内のあいさつがきちんとできなければ、他人へのあいさつが上手にできるはずがありません。

まずは・・・

「我が家でのあいさつはこうしよう！！」

と、というようなものを家族で話し合うとよいと思います。

子供から親に「ありがとう」とか「ごめんなさい」はきちんとはいえますが、親から子供に同じことをいえる家庭がどれだけあるのでしょうか？

親からも、素直に子供にいえようでありたいです。

子供達に安心を与えられるように、常に母親として、家庭の太陽でありたいですし、笑顔でいるのが一番ですね。

常に心掛けていきたいです。

★親しき仲にも礼儀あり！！

両親や、子供達に対しても、日々の日常生活の中で感謝を込めてあいさつをする事の大切さを考えるととても良い機会となりました。

～あとがき・ ・ ・～

挨拶の基本は言葉豊かな家庭生活の中にあります。

食事の時や団らんの時などに家族のコミュニケーションとは、あいさつから始まると会話がはずんでいきます。

そういうふれあいの中から、人間づきあいの輪が広がっていくのだと思います。子供の様子も手に取るかの様に感じられます。

家庭内であいさつや会話があれば、自然と家庭の外でもできる様になります。無感動・無関心・無気力と言われる世の中ですが、そうならないためにも、まず家庭内で心のあるあいさつをきちんとできるようにすることが大切だと思います。

あいさつが自分の口から出たとき、自分の耳で確かめて、これなら相手に対してきちんと伝わってるいると思えた時に、はじめて相手に届くあいさつになっていると思いませんか？

あいさつをしたつもり、あいさつを言ったつもりというようなあいさつでは何の意味もありません。

あいさつは、自分だけがするものではなくて、心を込めてしたあいさつに、相手もまた心を込めたあいさつを返してくれるものです。

その時にはじめて、よいあいさつを通して、心温かい人間関係がはじまるのだと思いました。

今回、「あいさつの大切さ」と、テーマを決めてグループ内にて意見交換や話し合いを通じて、私たち自身たくさんの事を学べた様に思います。毎日の生活に忘れてしまっていた当たり前の事、「心のこもった温かいあいさつ」をこころがけ子供達を見守っていきたいと思います。